

# 第84期報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

組 織



材 料



つなぐを化学する

SPECIALITY  
CHEMICAL PARTNER

歴 史



パートナー



荒川化学工業株式会社



代表取締役社長 谷奥 勝三

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第84期報告書（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当期の世界経済は、米国を中心とする先進国では回復の兆しが見え始めたものの、中国をはじめとする新興国の景気減速により、弱い成長に留まりました。国内経済はデフレ脱却に向けた金融緩和策により、株高・円安が進み、個人消費や輸出・生産の増加、輸出採算の改善がみられ、景気は回復傾向が続きまして。一方で、円安・原油高によるコスト上昇が製造業・素材業種の懸念要因となっております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、今年度よりスタートしました第3次中期経営計画の方針に沿った重点施策を進め、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大や事業開発の促進に注力してまいりました。特にロジンをはじめとする原材料価格の上昇が収益を圧迫しており、製品価格の改定や経費削減に努めております。そのような状況下、海外での収益拡大が寄与し、利益面では前年同期を上回りました。

その結果、当期の売上高は750億25百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は23億35百万円（同24.1%増）、経常利益は為替差益の影響もあり、26億97百万円（同39.4%増）、当期純利益は14億87百万円（同51.3%増）となりました。

なお、期末の配当金は、業績等を総合的に勘案し、1株につき13円とさせていただきます。これにより中間配当（1株につき12円）を含めました当期の年間配当金は、25円となりました。

当社は、グローバルに事業展開を推進する荒川化学グループ全体で、共有すべきグループ経営理念である「個性を伸ばし 技術とサービスで みんなの夢を実現する」のもと、「つなぐを化学する SPECIALITY CHEMICAL PARTNER」をビジョンとして掲げております。「つなぐを化学する」とは、当社の事業領域を表しており、当社の製品は材料の表面や隙間に存在し、機能を付与しています。私たちは、このような製品を通して、取引先はもとより、グループ社員、社会とのつながりを大切にする「SPECIALITY CHEMICAL PARTNER」を目指すことを基本方針としております。

この基本方針を具体的に実現するため、国内外の生産・販売拠点および関係会社の整備と拡充をはかり、全社をあげて経営基盤の充実と企業体質の強化に取り組み、同時に法令遵守、環境保護、社会貢献などの社会的責任を果し、グループの発展に努めてまいります。

なお、当社は、グループ経営理念とビジョンの実現に向け、新たに、当社が大切にしている価値観・行動指針を明確化し、「**ARAKAWA WAY**5つの**KIZUNA**」を策定しました。

これを荒川化学グループ全社員で共有し、根幹の部分は変わることはない経営を貫き、適切な判断と迅速な行動を積み重ねてまいります。

先行きの世界経済は、米国の財政健全化や欧州の債務問題の沈静化などを背景に、先進国を中心に緩やかな回復が続くとみられますが、新興国の景気減速や地政学的リスクの顕在化などの懸念があります。一方、国内経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動による落ち込みが懸念されますが、その後は、公共投資や輸出増加などにより、緩やかに回復すると見込まれます。

当社グループにおきましては、国内では当面、消費税増税の影響が下振れリスクとしてあるものの、世界経済の緩やかな回復によって需要の増加を見込んでおります。

2013年4月よりスタートしております第3次中期経営計画に掲げた基本方針のもと、グローバル化を加速するとともに、事業開発の促進による持続的な発展を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 5つのKIZUNA



株主の皆様へ ..... 1・2  
 What is ROSIN?  
 中国四千年の知恵を今に伝える ..... 3・4  
 漢方とロジン  
 事業の概況 ..... 5・6  
 連結財務諸表 ..... 7  
 個別財務諸表 ..... 8  
 Information  
 赤松植林・グリーンボランティアに参加 ..... 9  
 会社概要 ..... 10

# 中国四千年の知恵を今に伝える漢方とロジン

中国四千年におよぶ知恵が凝縮された漢方。漢方では古くから、自然の力を体内に取り込み身体機能を整えることを旨とし、ありとあらゆるものに薬効を見だし利用してきました。松脂も、その薬効が伝えられてきた自然の恵みのひとつ。今回は、漢方の世界におけるロジンの物語をひもときます。



ロジン（松脂を精製したもの）

## 世界最古の薬物書

### 『神農本草経』にも登場する松脂

古代中国の伝説で、「神農<sup>しんのう</sup>」と呼ばれた皇帝がいました。「神農」は、民のため自ら毒味役となり何百種類もの草木を食してその薬効を確かめたと伝えられています。

その名を冠した『神農本草経』は、漢の時代に編纂されたと言われている世界最古の薬物書。この書物は、その効用に合わせて3タイプにランク分けしているのが大きな特徴です。漢方で、“しょうし”、あるいは“しょうこう”と呼ばれる松脂は、無害のため常用しても問題ないとされる“上品（じょうほん）”に分類され、長く服用すると長生きできるとも紹介されています。

## 21世紀も、漢方の世界では松脂が人々の健康を支え続ける

このように、松脂は病気を治すというより健康を維持する薬として伝承されてきました。ただし、現在の漢方では内服ではなく、粉末にしたものを外傷や筋肉痛などに施す外用薬として利用する場合が一般的。

『神農本草経』で記されているように、中国の仙人のごとく、飲み続ければ不老長寿を実現するのは現実的にはかなり難しそうですが、松脂が漢方の世界では今でも薬としての役割を果たしているのです。



少彦名神社

●「神農」は、中国では古くから医薬と農業の神様として崇められています。日本でも「神農」を奉る神社がいくつかあり荒川化学本社近隣の道修町にある「少彦名神社」もそのひとつ。日本の医薬の神「少彦名神」とともに奉られ、「神農さん」と呼ばれて道修町の製薬会社の信仰を集めており、荒川化学も同神社を崇う薬祖講の講員です。



“神農さん” 御神絵

### 荒川化学はロジンと歩んで130余年

荒川化学は、明治9年に松脂とテレピン油を商う生薬商として大阪道修町界隈で創業いたしました。以来、130余年におよぶ永きにわたり「ロジン」を原料とするパインケミカルズ（松脂関連化学製品）分野のパイオニアとしての地位を確立してまいりました。例えば、紙のにじみ止め薬品、印刷インキ用樹脂、粘着・接着剤用樹脂などを開発し、日本の産業の発展に大きく貢献してまいりました。

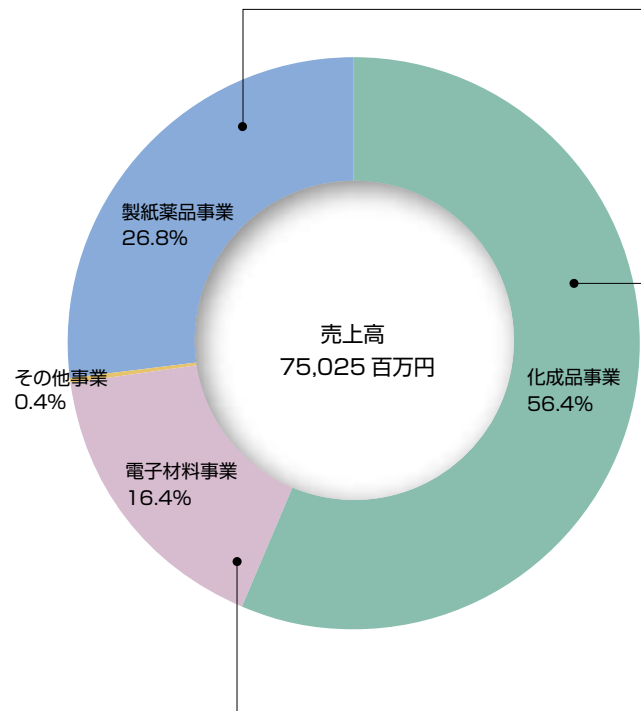
### つなぐを化学する

#### SPECIALITY CHEMICAL PARTNER

荒川化学の、さまざまな素材を活かす独自の「つなぐ」技術は、環境にやさしくを基本に、人と地球の未来をつなぎます。取引先はもとより、グループ社員、社会とのつながりを大切にします。

#### 「SPECIALITY CHEMICAL PARTNER」

を目指します。



製紙薬品事業



国内製紙業界は、印刷・情報用紙や段ボール原紙など板紙の生産が、消費税増税前の駆け込み需要もあり、堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内販売は堅調に推移しました。利益面では、原材料価格上昇による収益圧迫もありますが、中国を中心としたアジア地域における拡販が大きく寄与し、増益となりました。

その結果、売上高は200億78百万円(前年同期比12.5%増)、セグメント利益は11億66百万円(同27.8%増)となりました。

化粧品事業



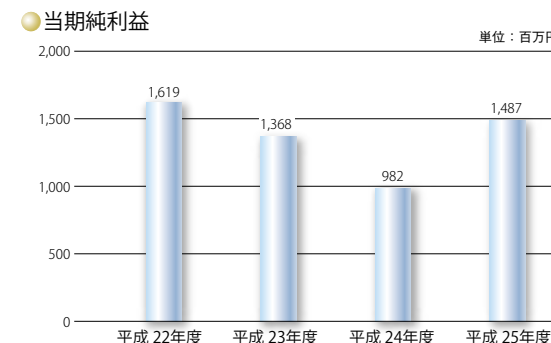
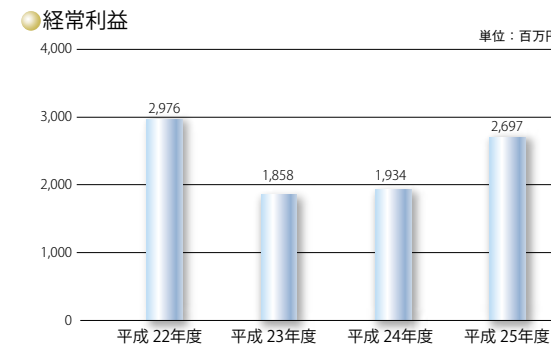
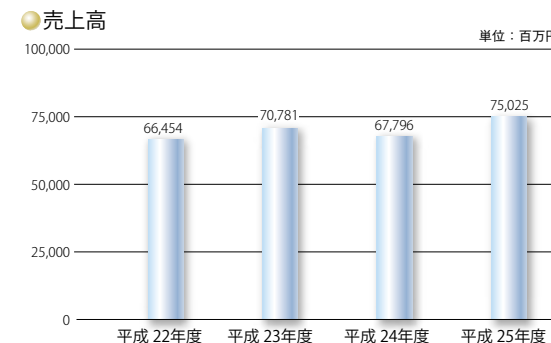
国内の印刷インキや粘着・接着剤業界は、出版・広告分野などで低迷が続きましたが、包装分野は堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、印刷インキ用樹脂の販売が堅調に推移しました。また、粘着・接着剤用樹脂が欧州、アジア地域で伸張し、売上高は423億77百万円(前年同期比11.9%増)となりました。セグメント利益は、原材料価格上昇により収益性が悪化しておりますが、海外での収益拡大に加え、超淡色ロジン製造設備の減価償却費減少等により、11億6百万円(同34.5%増)となりました。

電子材料事業



電子工業業界は、薄型テレビやノートパソコンの需要低迷が続くなか、スマートフォンや電装化が進む自動車向けなどの需要が拡大しました。このような環境のもと、当事業におきましては、電子部品の需要回復により、電子材料用配合製品は好調に推移しました。一方、光硬化型樹脂は、スマートフォン関連用途向けは堅調に推移しましたが、ノートパソコンや薄型テレビ向けは需要が縮小しました。

その結果、売上高は122億89百万円(前年同期比3.9%増)、セグメント利益は、前年度の損失から黒字転換し、27百万円(前年同期はセグメント損失1億77百万円)となりました。



## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

科目	前期 (25.3.31現在)	当期 (26.3.31現在)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	50,636	54,406
現金及び預金	6,993	6,668
受取手形及び売掛金	27,122	28,167
たな卸資産	14,986	17,478
その他	1,665	2,249
貸倒引当金	△ 131	△ 157
固定資産	27,735	27,936
有形固定資産	21,381	21,072
建物及び構築物	8,123	7,933
機械装置及び運搬具	7,907	7,828
土地	4,710	4,724
その他	639	585
無形固定資産	777	674
投資その他の資産	5,577	6,189
投資有価証券	4,783	5,480
その他	798	717
貸倒引当金	△ 4	△ 8
資産合計	78,372	82,342

### 連結損益計算書

科目	前期 (24.4.1から25.3.31まで)	当期 (25.4.1から26.3.31まで)
売上高	67,796	75,025
売上原価	54,879	61,028
売上総利益	12,917	13,997
販売費及び一般管理費	11,036	11,662
営業利益	1,881	2,335
営業外収益	640	747
営業外費用	587	386
経常利益	1,934	2,697
特別利益	17	91
特別損失	136	113
税金等調整前当期純利益	1,815	2,674
法人税、住民税及び事業税	547	678
法人税等調整額	191	348
少数株主利益	93	160
当期純利益	982	1,487

## 個別財務諸表

### 貸借対照表

科目	前期 (25.3.31現在)	当期 (26.3.31現在)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	36,846	36,285
現金及び預金	3,796	3,523
受取手形	1,210	1,361
売掛金	19,551	18,053
たな卸資産	9,174	10,194
その他	3,203	3,242
貸倒引当金	△ 90	△ 90
固定資産	28,985	28,248
有形固定資産	13,512	12,634
建物及び構築物	5,433	5,135
機械及び装置	3,837	3,089
土地	3,983	3,987
その他	256	420
無形固定資産	206	155
投資その他の資産	15,267	15,458
投資有価証券	4,690	5,142
その他	10,577	10,319
貸倒引当金	△ 0	△ 2
資産合計	65,832	64,533

### 損益計算書

科目	前期 (24.4.1から25.3.31まで)	当期 (25.4.1から26.3.31まで)
売上高	49,338	52,509
売上原価	40,933	44,290
売上総利益	8,404	8,219
販売費及び一般管理費	7,871	8,112
営業利益	533	106
営業外収益	1,180	1,837
営業外費用	444	198
経常利益	1,269	1,745
特別利益	0	73
特別損失	125	88
税引前当期純利益	1,143	1,730
法人税、住民税及び事業税	170	100
法人税等調整額	214	309
当期純利益	759	1,320

従来、技術供与先である連結子会社等から受け取る技術料収入を営業外収益に計上しておりましたが、当期より「売上高」に表示しております。また、この変更にともない、前期の技術料収入につきましても「売上高」に組替をおこなっております。

(単位：百万円)

科目	前期 (25.3.31現在)	当期 (26.3.31現在)
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	33,825	29,047
支払手形及び買掛金	12,478	12,867
短期借入金	11,581	11,525
その他	9,765	4,654
固定負債	4,437	9,660
長期借入金	1,825	2,079
退職給付引当金	1,783	—
退職給付に係る負債	—	1,015
その他	828	6,565
負債合計	38,262	38,708
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	38,052	39,066
資本金	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350
利益剰余金	31,585	32,599
自己株式	△ 11	△ 11
その他の包括利益累計額	836	3,342
その他有価証券評価差額金	1,089	1,370
為替換算調整勘定	△ 253	1,714
退職給付に係る調整累計額	—	256
新株予約権	—	27
少数株主持分	1,220	1,199
純資産合計	40,109	43,634
負債純資産合計	78,372	82,342

### 連結株主資本等変動計算書

科目	前期 (24.4.1から25.3.31まで)	当期 (25.4.1から26.3.31まで)
純資産合計		
当期首残高	37,910	40,109
当期変動額		
剰余金の配当	△ 463	△ 473
当期純利益	982	1,487
自己株式の取得	△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,678	2,511
当期変動額合計	2,198	3,525
当期末残高	40,109	43,634

### 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前期 (24.4.1から25.3.31まで)	当期 (25.4.1から26.3.31まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,471	2,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,484	△ 1,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,919	△ 1,538
現金及び現金同等物に係る換算差額	255	468
現金及び現金同等物の増加額(△は減少額)	1,323	△ 325
現金及び現金同等物の期首残高	5,577	6,901
現金及び現金同等物の期末残高	6,901	6,576

(単位：百万円)

## 赤松植林・グリーンボランティアに参加

里山再生ボランティア団体 就実・森の学校は、荒れた里山を手入れし、かつての美しい里山を取り戻すため赤松植林等をおこなっております。

2014年3月9日、岡山市中区今谷にある就実学園の校地において、同団体による第10回グリーンボランティア活動・赤松植林が実施され、当社からも社長をはじめとする有志がボランティア参加しました。

当社は創業以来「松」と関わっていることと、同じ岡山県内で水島工場を稼働していることより、同団体の活動趣旨に賛同し参加したものです。

当日は赤松植林作業だけでなく、就実学園の生徒さんへ、松の木の見本を使った「松脂」の採取方法や利用方法、当社と「松」との関わりなどを紹介する青空教室も行いました。

今後もこのようなボランティア活動を続けて参ります。



### 会社概要 (平成26年3月31日現在)

商号	荒川化学工業株式会社
創業	明治9年(1876年)
設立	昭和6年1月(1931年)
資本金	31億2,830万円
グループ従業員	1,330名
主な事業内容	次の製品の製造および販売 製紙用薬品、印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、 粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、 光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、 精密部品洗浄剤および洗浄装置
ホームページアドレス	<a href="http://www.arakawachem.co.jp">http://www.arakawachem.co.jp</a>

### 役員 (平成26年6月19日現在)

代表取締役社長	谷 奥 勝 三
常務取締役	眞 鍋 好 輝
常務取締役	宇 根 高 司
取締役相談役	末 村 長 弘
取締役	延 廣 徹
取締役	辰 巳 純 一
取締役	西 川 学
取締役	三 王 哲 朗
取締役	宮 下 泰 知
取締役	荒 川 壽 正
社外取締役	中 西 隆 夫
常勤監査役	山 中 勝 之
常勤監査役	厚 朴 裕 一
社外監査役	岩 城 本 臣
社外監査役	浅 井 正 士

### 株式の状況 (平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数	52,800,000株
発行済株式の総数	20,150,400株
株主数	3,397名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,274	6.33
荒川化学従業員持株会	1,183	5.88
株式会社三菱東京UFJ銀行	940	4.67
荒川壽正	581	2.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	425	2.11
三菱化学株式会社	406	2.02
株式会社みずほ銀行	397	1.97
株式会社三井住友銀行	396	1.97
荒川彦二	380	1.89
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	363	1.81

(注) 持株比率は、自己株式(12,034株)を控除して計算しております。

### グループ会社の状況 (平成26年3月31日現在)

会社名	資本金	議決権比率
Arakawa Europe GmbH	52千ユーロ	100%
広西梧州荒川化学工業有限公司	15,000千米ドル	100%
南通荒川化学工業有限公司	8,000千米ドル	100%
ペルノックス株式会社	60百万円	100%
高压化学工業株式会社	60百万円	100%
ARAKAWA CHEMICAL(THAILAND)LTD.	119,000千タイバツ	100%
台湾荒川化学工業股份有限公司	149,226千新台幣元	60%
荒川化学合成(上海)有限公司	3,900千米ドル	100%
Arakawa Chemical(USA)Inc.	1,400千米ドル	100%
カクタマサービス株式会社	100百万円	100%
日華荒川化学股份有限公司	25,000千新台幣元	100%
HONG KONG ARAKAWA CHEMICAL LTD.	4,000千米ドル	60%
柏彌蘭科技股份有限公司	11,000千新台幣元	60%
厦門荒川化学工業有限公司	5,603千米ドル	間接60%

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	日本経済新聞
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問い合わせ先)	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 荒川化学工業株式会社

大阪市中央区平野町1丁目3番7号 〒541-0046  
電話 06-6209-8500(代表)



地球に優しいベジタブルインクを使用しております。